

第96期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

▶ 目 次

株主の皆様へ	1
業績の推移	5
連結貸借対照表	7
連結損益計算書	8
連結キャッシュ・フロー計算書	8
会社概要	9
株式の状況	10
株主メモ（株式のご案内）	裏表紙

 大平洋金属株式会社

証券コード：5541



株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに第96期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の当社グループの事業の概況につきましてご報告いたします。

2021年12月

代表取締役社長

青山 正幸

経営理念

人の力を活かし、地球の資源をより有用なるものとして提供し、人類社会の幸福に貢献する

経営方針

1. 当社グループ全体の経営戦略を一体化して、グループ各社のシナジー効果を最大限に発揮すること。
2. 世界に誇る製錬技術の開発と品質向上に全力を傾注し、経営の効率化と競争力で世界有数の基盤を確立すること。
3. コンプライアンスを推進すること。
4. 公正・透明・自由な競争を通して、適正な利益を確保すること。
5. かけがえのない地球を守るため、あらゆる環境問題に積極的に取り組むこと。
6. 社員の個性を伸ばし創造性を十分に発揮させるとともに、物心両面のゆとりと豊かさを追求し、生きがいのある職場を実現すること。
7. 広く社会との交流を進め公正な企業情報を積極的に開示すること。

当 第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一時期と比べ経済活動は持ち直しているものの、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響が継続し、多くの地域に緊急事態宣言等が発出され、各種行動制限等の影響で個人消費・雇用環境等は弱い動きとなり、景気回復ペースはいまだ鈍く不透明な状況が継続しました。

海外経済については、一部の国において経済正常化へ向けた景気刺激策及びワクチン接種の進展等もあって雇用・所得環境等に回復は見られるものの、感染症の影響により景気回復は各国でばらつきがあり、また、米新政権の経済政策運営、米中間の通商政策を巡る動向、金融資本市場変動の影響及び中東の地政学的リスク等に伴う先行き不透明感が継続する中で、総じて不確実性の高い状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの売上高並びに損益の大半を占めるニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、感染症の動向及び中国の電力規制問題等による影響には不透明感を残すものの、経済活動の正常化へ向けた動きに伴い需要は持ち直しが見られており、生産設備等の稼働は堅調に推移しました。

こ のため、フェロニッケル需要は、一定の回復が見られた推移となりました。

フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の調達は、鉱山会社の操業・出荷状況は概ね安定しており、当社生産・販売数量に

見合う調達は維持しました。また、ニッケル鉱石の価格に関しては、インドネシア未加工鉱石禁輸政策による影響及び堅調なステンレス需要等を背景に高水準で推移しており、生産コスト高へ影響しました。

ロンドン金属取引所（LME）におけるニッケル価格は、感染症の影響で制限された経済活動は再開の動きが一部で拡大しており、生産活動の回復及びワクチン接種加速等の期待感を背景に上昇基調となり、一方で、金融資本市場の変動、各国の景気動向及び不透明な原油商品市況等は継続しており、また、期の後半においては、中国の不動産大手債務問題及び電力規制問題等も影響して一時調整局面は見せたものの、期を通しては比較的高水準で推移いたしました。

その中で、当社のフェロニッケル販売数量は、海外ステンレス生産者の原料調達が比較的価格優位性が見られるニッケル銑鉄等へ一部シフトしておりますが、前述したステンレス鋼業界の環境を背景に、前年同四半期と比べ国内外向けともに増加し、全体では前年同四半期比33.9%の増加となりました。

また、フェロニッケル生産数量は、販売数量と概ね同様の傾向で、増加しました。

フェロニッケル製品の販売価格は、不透明感の増す事業環境への対応等は継続している中で、当社適用LMEニッケル価格は前年同四半期比36.9%上昇及び当社適用平均為替レートは前年同四半期比2.9%の円安となり、価格高となりました。

このように、不透明感の継続する経営環境

株主の皆様へ

のもと、当社グループは、感染症に対して、「感染拡大防止に関する行動指針」を策定し、感染予防等に努めており、販売先及び調達先の各国と適時適切なコミュニケーションを取りながら、事業活動等に与える感染症の影響について低減を図っております。また、感染症の影響は、当連結会計年度においても継続するものと考えられますが、このような事業環境等への対応施策は継続的に進めており、収益基盤をより一層強化させるため、省エネ・低コスト生産等によるトータルコスト削減の推進、最適生産体制構築のための設備強化及び鉱石の長期安定調達へ向けた取り組み並びに採算性重視の受注を徹底し、臨機応変な生産販売体制の構築等に努めております。さらには、海外事業展開・新規鉱山開発等の早期実現及びコストミニマムを追求するための業務効率改善策の強化等、業績の底上げ及び収益安定化に向けた取り組みを継続しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、連結売上高が24,098百万円、前年同四半期比では81.7%の増収となりました。損益面では、営業利益は952百万円（前年同四半期営業損失53百万円）、営業外収益において持分法による投資利益2,642百万円の計上等を含めた経常利益は3,995百万円、前年同四半期では208.8%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,405百万円、前年同四半期比では170.2%の増益となりました。

なお、中間配当金につきましては、年間業績見通しを慎重に検討いたしました結果、1株

当たり20円とさせていただきます。



後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症は国内外の景気へ引き続き影響を及ぼしており、経済の先行きは、依然不確実性が高い状態で推移しております。

販売数量面では、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、国内外の稼働は回復基調となっており、前回発表予想より販売増を見込んでおります。

販売価格面では、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、各国の経済回復へ向けた景気対策等への期待から、堅調に推移するものと見込んでおります。

調達面においては、ニッケル鉱石は生産に見合う数量は確保する見通しの一方で、ニッケル鉱石価格及び燃料、諸原料価格等が高水準で推移しており、生産コストへの影響が見込まれます。

感染症の影響につきましては、当連結会計年度においても継続するものと考えられますが、そうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き、強く推し進めてまいります。

このような状況のもと当社グループは、ユーザーとの安定した取引と信頼関係の継続、鉱石の長期安定調達、低コスト操業の推進等、あらゆる施策に取り組み、業績回復を目指してまいります。

また、当社グループは、企業の継続的な成長・発展と中長期的な企業価値の増大を図るため、コンプライアンスの強化、コーポレート・ガバナンスの充実及び内部統制システムの円滑な運用を重要な経営課題と認識し、鋭意取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業部門別の概況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

【ニッケル事業】

ニッケル事業についての経営成績は、2頁に記載のとおりであります。

その結果、当部門の売上高は23,736百万円、前年同四半期比82.8%の増収、営業利益は996百万円、前年同四半期比739.3%の増益となりました。

【ガス事業】

ガス事業についての経営成績は、安定した操業で一定水準の利益を維持しました。

その結果、当部門の売上高は303百万円、前年同四半期比9.2%の増収、営業利益は16百万円（前年同四半期営業損失82百万円）となりました。

【その他】

その他の事業部門につきましては、不動産事業において前連結会計年度の土地販売に関連した販売が第1四半期にあり利益計上となりましたが、廃棄物リサイクル事業は受注低迷等で、当部門は損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は113百万円、前年同四半期比109.4%の増収、営業損失は65百万円（前年同四半期営業損失94百万円）となりました。

業績の推移

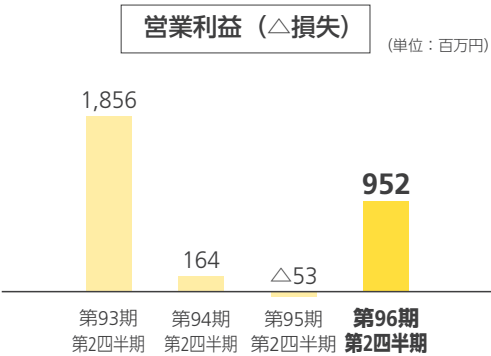
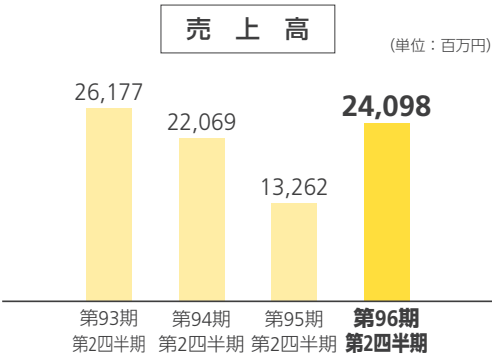
事業部門別売上高及び営業利益の状況

● 売上高

区 分	第95期第2四半期 (2020.4～2020.9)		第96期第2四半期 (2021.4～2021.9)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ニ ッ ケ ル 事 業	12,982	97.9	23,736	98.5	10,754	82.8
ガ ス 事 業	277	2.1	303	1.2	25	9.2
そ の 他	54	0.4	113	0.5	59	109.4
事 業 部 門 間 の 消 去	△51	△0.4	△54	△0.2	△3	—
合 計	13,262	100.0	24,098	100.0	10,835	81.7

● 営業利益（△損失）

区 分	第95期第2四半期 (2020.4～2020.9)		第96期第2四半期 (2021.4～2021.9)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ニ ッ ケ ル 事 業	118	△221.5	996	104.7	877	739.3
ガ ス 事 業	△82	153.6	16	1.7	98	—
そ の 他	△94	176.7	△65	△6.9	29	—
事 業 部 門 間 の 消 去	4	△8.8	4	0.5	△0	—
合 計	△53	100.0	952	100.0	1,005	—



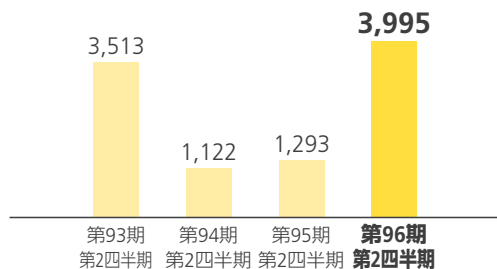
■ 財産及び損益の状況の推移

(単位：百万円)

区 分	第93期第2四半期 (2018.4～2018.9)	第94期第2四半期 (2019.4～2019.9)	第95期第2四半期 (2020.4～2020.9)	第96期第2四半期 (2021.4～2021.9) (当第2四半期連結累計期間)
売上高	26,177	22,069	13,262	24,098
経常利益	3,513	1,122	1,293	3,995
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,372	1,016	1,260	3,405
1株当たり四半期純利益	172.87円	52.13円	64.62円	174.61円
総資産	72,944	73,094	71,205	77,560
純資産	64,959	65,587	65,572	70,517

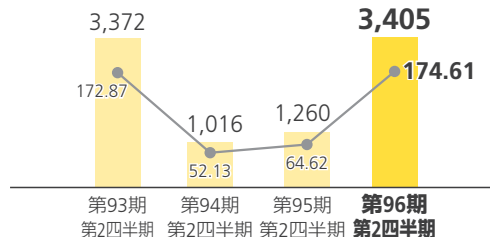
経常利益

(単位：百万円)



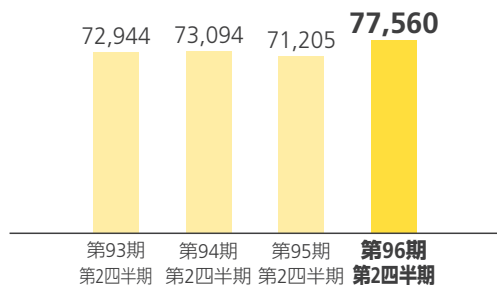
親会社株主に帰属する四半期純利益 1株当たり四半期純利益

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位：百万円)
● 1株当たり四半期純利益 (単位：円)



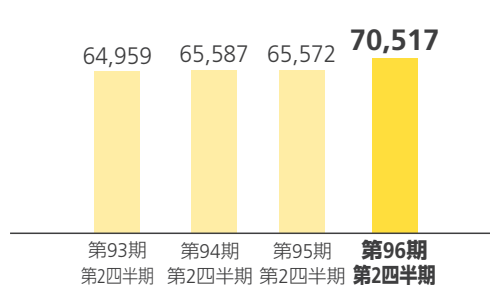
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	47,853	47,834
現金及び預金	21,486	21,570
受取手形及び売掛金	7,879	10,568
有価証券	3,000	2,799
商品及び製品	5,670	4,262
仕掛品	333	371
原材料及び貯蔵品	6,279	6,137
その他	3,206	2,126
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	27,631	29,726
有形固定資産	7,606	7,486
無形固定資産	1	0
投資その他の資産	20,023	22,239
投資有価証券	19,594	21,860
その他	435	384
貸倒引当金	△5	△5
資産合計	75,484	77,560

科 目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	4,529	3,143
支払手形及び買掛金	1,575	1,070
未払費用	1,127	1,334
未払法人税等	35	171
賞与引当金	258	303
その他	1,533	264
固定負債	3,941	3,899
退職給付に係る負債	571	500
繰延税金負債	1,266	1,364
再評価に係る繰延税金負債	654	654
環境対策引当金	33	33
訴訟損失引当金	28	28
契約損失引当金	1,377	1,306
その他	9	11
負債合計	8,470	7,043
純資産の部		
株主資本	64,903	67,918
資本金	13,922	13,922
資本剰余金	3,481	3,481
利益剰余金	47,950	50,965
自己株式	△449	△450
その他の包括利益累計額	1,833	2,309
その他有価証券評価差額金	2,659	2,858
繰延ヘッジ損益	△37	△42
土地再評価差額金	644	645
為替換算調整勘定	△1,108	△857
退職給付に係る調整累計額	△325	△294
非支配株主持分	276	290
純資産合計	67,014	70,517
負債及び純資産合計	75,484	77,560

連結損益計算書／連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	13,262	24,098
売上原価	11,988	21,749
売上総利益	1,274	2,348
販売費及び一般管理費	1,327	1,396
販売費	562	659
一般管理費	765	737
営業利益又は営業損失 (△)	△53	952
営業外収益	1,623	3,149
受取利息	1	4
受取配当金	262	215
為替差益	—	133
不動産賃貸料	57	51
持分法による投資利益	1,146	2,642
その他	154	102
営業外費用	275	106
支払利息	0	0
為替差損	171	—
外国源泉税	37	30
その他	66	75
経常利益	1,293	3,995
特別利益	1	—
固定資産売却益	1	—
特別損失	5	232
減損損失	—	221
固定資産除却損	5	11
税金等調整前四半期純利益	1,289	3,762
法人税等合計	62	343
法人税、住民税及び事業税	209	308
法人税等調整額	△147	35
四半期純利益	1,226	3,418
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,260	3,405

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,736	2,745
投資活動による キャッシュ・フロー	△957	△2,793
財務活動による キャッシュ・フロー	△99	△391
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△21	23
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,658	△416
現金及び現金同等物の 期首残高	18,314	22,286
現金及び現金同等物の 四半期末残高	19,972	21,870

会社概要 (2021年9月30日現在)

● 会 社 名	大平洋金属株式会社 (PACIFIC METALS CO.,LTD.)	● 資 本 金	13,922,000,000円
● 創 立	1949年12月1日	● 従 業 員 数	423名 (連結：467名)

● 役員及び執行役員

代 表 取 締 役 社 長	青 山 正 幸	常 勤 監 査 役	達 中 輝 一
取締役 専務執行役員	猪 股 吉 晴	監査役 (社 外)	安 田 健
取締役 常務執行役員	原 賢 一	監査役 (社 外)	緒 形 秀 樹
取締役 常務執行役員	松 山 輝 信	監査役 (社 外)	池 田 修 三
取締役 上席執行役員	一 柳 広 明	上 席 執 行 役 員	岡 村 千 足
取締役 上席執行役員	岩 舘 一 夫	上 席 執 行 役 員	河 端 聡
取締役 (社 外)	松 本 伸 也	執 行 役 員	松 村 知 幸
取締役 (社 外)	今 井 光	執 行 役 員	木 村 徹 嗣
取締役 (社 外)	酒 井 由 香 里		

● 重要な子会社	太平洋興産株式会社、株式会社大平洋ガスセンター
----------	-------------------------

● 事業所一覧



- 本店
東京都千代田区大手町一丁目6番1号
大手町ビル
TEL. 03-3201-6681
- 八戸本社
青森県八戸市河原木遠山新田5番2
TEL. 0178-47-7121
- フィリピン事務所
Unit-2, 22/F, NAC Tower, 32nd St.,
Bonifacio Global City, Taguig City,
Philippines
- ジャカルタ事務所
Sentral Senayan II, 15th Floor Jl.
Asia Afrika No.8, Jakarta 10270,
Indonesia

株式の状況 (2021年9月30日現在)

● 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株	株主数	14,813名
発行済株式総数	19,577,071株	単元株式数	100株

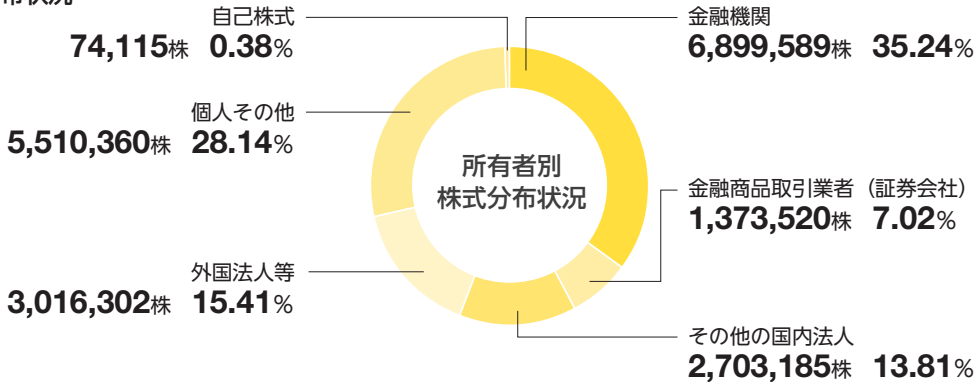
● 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,570	18.31
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	2,922	14.98
日鉄ステンレス株式会社	2,049	10.51
立花証券株式会社	635	3.26
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	500	2.57
J.P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SETT ACCT	318	1.63
JP MORGAN CHASE BANK 385781	293	1.50
大平洋金属取引先持株会	287	1.48
松井証券株式会社	249	1.28
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505044	246	1.26

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式数74,115株を減じた株式数19,502,956株を基準に算出しております。

● 所有者別分布状況



株主メモ（株式のご案内）

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関
株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先）

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）

フリーダイヤル 0120 (782) 031
(オペレーター対応 平日9:00~17:00)

インターネットホームページURL

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

（よくあるご質問 (FAQ)）

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

公告の方法

当社のホームページに掲載する。
<https://www.pacific-metals.co.jp/koukoku/>
但し、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。

上場証券取引所

東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先（三井住友信託銀行株式会社 証券代行部）にご連絡をお願いいたします。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先（三井住友信託銀行株式会社 証券代行部）にお願いいたします。

ホームページ紹介

IRページへはこちらより
お越しください



当社ホームページもご覧ください。
またIR専用ページでは経営計画や財務情報、株式情報等、株主・投資家の皆様向けの情報をご覧ください。

大平洋金属

検索

<https://www.pacific-metals.co.jp/>

【株式に関する「マイナンバー制度」のご案内】

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けいただく必要がございます。

マイナンバーのお届けに関するお問い合わせ先

- 証券会社にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
上記の電話照会先（三井住友信託銀行株式会社 証券代行部）にお問い合わせください。